

高度な医療サービスがより早く享受できる

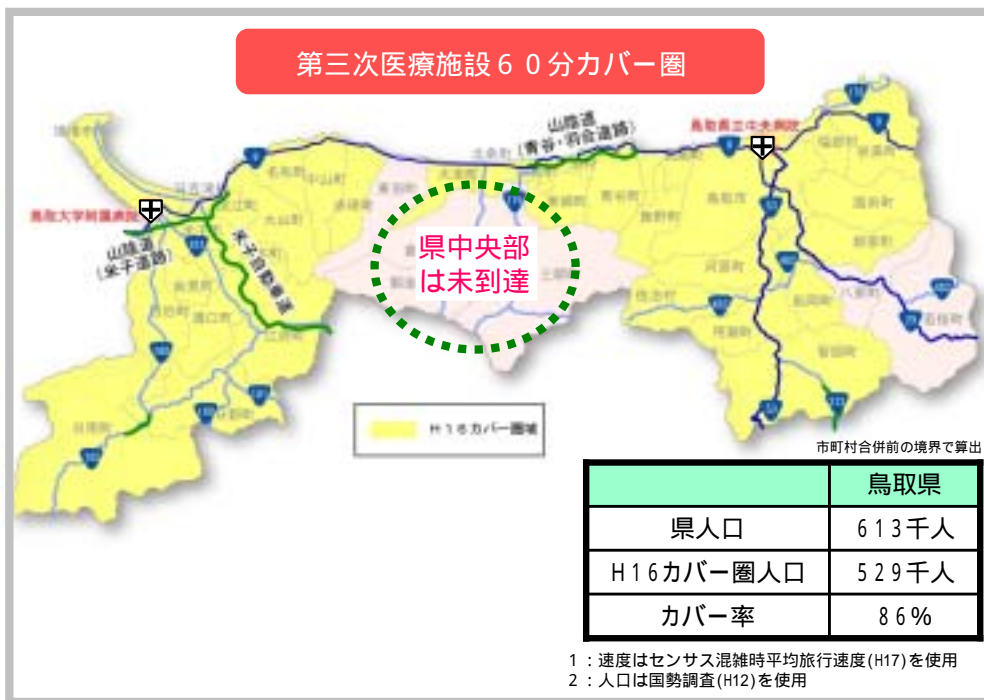
第三次医療施設 60分カバー率

1 鳥取県の現状

鳥取県内の第三次医療施設は、鳥取市の「県立中央病院」と米子市の「鳥取大学付属病院」です。

県内の二大都市が第三次医療施設 60分カバーエリア内に含まれており、**カバー率は 86% (平成 16 年度値)** となっています。

しかしながら、倉吉市を中心とした**県中央部はカバーエリアの空白地帯**であり、医療サービス面で格差が生じています。



2 昨年度の成果 (達成度報告)

平成 17 年度は、名和・淀江道路、中国横断自動車道姫路鳥取線、北条倉吉道路などの事業について整備を推進しました。

このうち、青谷・羽合道路アクセス部、生山道路が供用しましたが、既にカバー圏に含まれているため、第三次医療施設 60分カバー率の値は変わりませんでした。

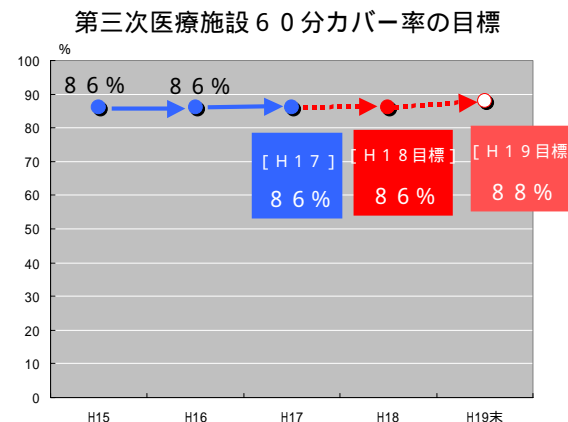
ただし、第三次医療施設までアクセス時間が短縮されました。

「TOPICS 青谷・羽合道路アクセス部」P. 16 参照

3 本年度のとりくみ (業績計画)

平成 18 年度も第三次医療施設 60分カバー率の向上が期待できる事業箇所の早期供用を目指して整備を推進します。

各事業の進捗状況は P. 6 ~ 7 参照



TOPICS ~ 青谷・羽合道路アクセス部の開通 ~

・青谷・羽合道路の青谷ICと国道9号のアクセス部を平成17年11月30日に供用しました。
 ・供用により、線形不良箇所回避や代替路の確保等が図られ、また青谷ICから県立中央病院までの所要時間も短縮し、地域の「安心」が一層高まりました。



平成17年11月開通

整備効果

効果 所要時間の短縮

開通前(青谷IC～県道～国道9号～八束水)と供用後の所要時間を比較すると4分短縮しました。



青谷町住民へのアンケートの結果

効果 線形不良箇所の回避

急カーブや急勾配が多かった長尾峠を回避できます。

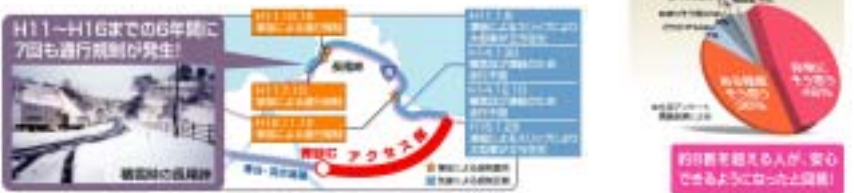


消防救助関係へのヒアリング調査の結果(平成18年2月16日調査実施)



効果 代替路の確保

冬期のスリップや交通事故による通行止めが多かった長尾峠が回避でき、通行止め時でも代替路としての機能を発揮します。



青谷町住民を対象に479部を配布し162部回収した結果を集計。(平成18年2月10日調査実施)

4 平成19年度目標達成に向けた展望

第三次医療施設60分カバー率の平成19年度目標値は88%であり、山陰道(名和・淀江道路)の整備により平成18年度から2%の増加を目指します。



市町村合併前の境界で算出

交流と連携

生き活きと

安全で安心